

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	性の多様性推進事業										事業コード	030101730338			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	1 偏見や差別のない多様性の尊重と理解促進								施策コード	311				
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室						所属長	大西 浩						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次男女共同参画計画「はばたきプラン2021」				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市みんなの多様な性を尊重する条例														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 (

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	すべての人が多様な性を認め合い、性別並びに性的指向及び性自認に関わらず、互いに人権が尊重され、個性と能力を十分に発揮するとともに多様な生き方ができるまちをめざす。				
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 (

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,782		983		705		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		2,782		983		705		0				
予算財源内訳	① 一般財源	1,392		766		362		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	1,390		217		343		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 26								
	② 配当予算	2,782		957								
	③ 執行額	702		765								
	④ 執行率	25.2%		79.9%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.03	/	0.00	0.04	/	0.00	/				
	② 概算人件費	240		320								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		942		1,085								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		252		決算附属資料	23	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	研修等依頼件数(出前講座)	件	/		14 / 5		6 / 5		/ 7		7
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	主催講演会等の参加者数	人	/		55 / 100		5 / 70		/ 40		100
	単位あたりコスト				12.8		153.0				
	単位あたりコスト		/		1 /		/		/		性の多様性推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティ当事者が一人で悩まずに、相談や交流をする機会を提供することは必要である。また合わせて、全ての人が多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向けた啓発やセミナーを継続して行う必要がある。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや交流会についての広報は府内のネットワーク団体にも行い、多くの人に案内をしてもらえるよう依頼をした。 ・市の関連施設だけではなく、民間の商業施設、遊興施設にもチラシやポスターを配布し、広報を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府南部で開催されている交流会を参考に、性的マイノリティ交流会を開催した。 ・活動実績としている主催講演会は、R4年度は他の団体と共催で、企業を対象としたセミナーを実施したが、R5年度は、市単独でセミナーを実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、府内の関係団体、企業、自治体等で構成されるネットワークに参画したことで、当事者との繋がりが広がった。 ・当初は広く市民への啓発に力を入れていたが、性別について悩んでいた、違和感を感じていたりする人を対象に、取組を強化する必要がある。 ・出前講座でのアンケートでは、年齢層が上がると「自分の周りにはいない」との意見も多く、若年期からの教育・啓発に取り組む必要がある。 ・R5年度のセミナー参加者数は5名にとどまった。 		
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度は性的マイノリティ交流会を定期開催し、様々なSOGIの人が集い、安心して話せる場を作る。 ・若年層への啓発については、市内の高校と協働し、高校生や教職員に対する啓発の取組を行う。 ・セミナーは、他の団体と共催するなどし、集客に努める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--